令和3年12月佐川町議会定例会会議録（第1号）

招集年月日 令和3年12月3日

招集の場所 佐川町議会議場

開 会 令和3年12月3日 午前9時宣告

開 議 令和3年12月3日 午前9時宣告（第1日）

応招議員	1番	齋藤	光	2番	岡林	哲司	3番	山本	和輝
	4番	田村	幸生	5番	橋元	陽一	6番	宮崎	知恵子
	7番	西森	勝仁	8番	下川	芳樹	9番	坂本	玲子
	10番	森	正彦	11番	松浦	隆起	12番	岡村	統正
	13番	永田	耕朗	14番	藤原	健祐			

不応招議員 なし

出席議員	1番	齋藤	光	2番	岡林	哲司	3番	山本	和輝
	4番	田村	幸生	5番	橋元	陽一	6番	宮崎	知恵子
	7番	西森	勝仁	8番	下川	芳樹	9番	坂本	玲子
	10番	森	正彦	11番	松浦	隆起	12番	岡村	統正
	13番	永田	耕朗	14番	藤原	健祐			

欠席議員 なし

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	片岡 雄司	町 民 課 長	片岡 和子
副 町 長	田村 正和	病院事務局長	池内 智保
教 育 長	濱田 陽治	健康福祉課長	岡崎 省治
会 計 課 長	真辺 美紀	教 育 次 長	吉野 広昭
総 務 課 長	麻田 正志	産 業 振 興 課 長	下八川久夫
チ-ム佐川推進課長	岡田 秀和	建 設 課 長	池内 伸雄
税 務 課 長	田村 秀明	農 業 委 員 会 事 務 局 長	山本 清和

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 河添 博明

町長提出議案の題目 別紙のとおり

議員提出議案の題目 な し

議 事 日 程 議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

会議録署名議員の指名 議長は、会議録署名議員に次の2人を指名した。
5番 橋元 陽一 6番 宮崎 知恵子

令和3年12月佐川町議会定例会議事日程〔第1号〕

令和3年12月3日 午前9時開議

日程第1		会議録署名議員の指名
日程第2		会期の決定
日程第3		諸般の報告
日程第4		行政報告
日程第5		請願・陳情について
日程第6	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
日程第7	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について
日程第8	諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について
日程第9	同意案第5号	佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任について
日程第10	同意案第6号	佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任について
日程第11	議案第77号	令和3年度佐川町一般会計補正予算（第8号）
日程第12	議案第78号	令和3年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
日程第13	議案第79号	令和3年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第2号）
日程第14	議案第80号	佐川町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
日程第15	議案第81号	佐川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

- 日程第 16 議案第 8 2 号 佐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の
制定について
- 日程第 17 議案第 8 3 号 佐川町病院事業管理者の給与及び旅費に関する条
例の一部を改正する条例の制定について

議長（西森勝仁君）

おはようございます。ただいまから、令和3年12月佐川町議会定例会を開会いたします。

ただいまの出席議員数は14人です。

定足数に達していますので、直ちに本日の会議を開きます。

日程に先駆けまして、佐川町議会先例集の定めるところにより令和3年第5回臨時会において承認されました副町長の就任挨拶を求めます。

副町長（田村正和君）

おはようございます。

お許しをいただきましたので、一言、御挨拶を申し上げます。先の臨時会において議会の皆様より、副町長選任の御同意をいただきまして、まことにありがとうございました。

11月の23日より副町長を務めさせていただいております田村でございます。何分微力ではございますけども、選任をいただきました町長の思いをしっかりと胸に刻んで、町政発展のために全力を尽くしてまいりたいと考えております。

私自身、器用に話すことはできませんけども、しっかりと聴くことはできると思っております。住民の皆様のお話、それから議会の皆様よりの御提言、お話、それから職員の皆様からのお話をしっかりと聴いて、それを町政発展につなげるような人間になれるように努力をしてみたいです。どうぞ、議会の皆様、なお一層御指導をいただけますようお願いを申し上げまして、簡単ではございますけども御挨拶とさせていただきます。

どうぞ、よろしく願いをいたします。

議長（西森勝仁君）

引き続き、12月1日付で職員の人事異動がっております。

御紹介しますので、御起立ください。

議会事務局長（河添博明君）

よろしく申し上げます。

農業委員会事務局長（山本清和君）

どうぞよろしく願いいたします。

産業振興課長（下八川久夫君）

よろしく申し上げます。

議長（西森勝仁君）

以上の方々です。よろしくお願いをいたします。

本日の日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は会議規則第126条の規定によって、5番、橋元陽一君、6番、宮崎知恵子君を指名します。

日程第2、会期の決定の件を議題にします。

本定例会の会期については、議会運営委員長から報告を願います。

議会運営委員長（坂本玲子君）

おはようございます。12月定例会の会期及び運営につきまして、11月29日に議会運営委員会を開催し審議した結果を報告します。

本日12月3日を開会日とし、議案の上程、説明までとし、終了後、常任委員会を開きます。4日土曜日、5日日曜日は休会とします。6日月曜日、7日火曜日は一般質問を行います。8日水曜日は一般質問と常任委員会審査報告を行います。終了後、休会とし、議員全員協議会を開きます。9日木曜日、議案質疑、討論、採決等を行い閉会とします。

本定例会の会期は、12月3日から9日までの7日間に決定しましたので報告します。

なお、運営については議長に一任いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

議長（西森勝仁君）

お諮りします。

本定例会の会期を議会運営委員長の報告のとおり、本日から9日までの7日間にしたいと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から9日までの7日間に決定しました。

日程第3、諸般の報告を行います。

10月29日、議長就任後の重立ったものについて報告します。11月1日高知県戦没者追悼式が県民文化ホールで開催され、町長とともに出席いたしました。式典には県議会議長初め、市長会、町村長会代表、また、遺族代表の方による追悼の辞が述べられた後、加茂中学校3年、川田花輝さんによる平和の誓いと題した作文朗読がありました。平和への思いが真摯に伝わり、堂々たる朗読で胸を打た

れ、心に響く作文でありました。

11月23日、高知県県政150周年記念式典が県民文化ホールで開催され、町長とともに出席しました。濱田高知県知事による挨拶に始まり、県政の歩みを映した150周年記録映像が放映されました。後世に着実に伝えながら、新たに発展していくこれからの高知県政の式典でありました。

11月26日、令和3年度、議会広報研修会がサテライト会場であるいの町役場で開催され、議会広報委員全員の方と、事務局とともに参加してきました。こうち人づくりによるこの研修は映像配信によるものでしたが、講師の佐久間智之氏からは広報紙面づくりのよりよいヒントを斬新かつ丁寧に教えていただきました。今後、当町にふさわしい工夫を凝らしながら、こぞって住民の方に手に取って読んでいただける広報発行に努めていきたいと考えております。

11月29日、高吾北広域町村事務組合議会第4回定例会が開催され出席しました。提出されました議案は一般会計補正予算のほか、特別会計補正予算3件でありましたが、いずれの議案も満場一致で可決されました。なお、組合議会の副議長の選挙と、監査委員の選任議案があり、副議長に当議会の藤原健祐氏が選出され監査委員には松浦隆起氏が選任されました。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4、行政報告を行います。

町長（片岡雄司君）

皆様、おはようございます。

本日は、議員の皆様方の御出席をいただき、令和3年12月佐川町議会定例会が開催できますことを厚く御礼申し上げます。また、日ごろは町政運営につきまして御指導、御協力をいただきまして改めて御礼申し上げます。

それでは、開会にあたりまして、行政報告をさせていただきます前に、私にとりまして就任後最初の定例議会でございますので、今後の町政運営に対する私の所信と決意を申し上げ、議員の皆様方を初め、町民の皆様方の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

10月の町長選挙におきまして、多くの町民の皆様からの信託を受け、佐川町長として、町政をお預かりすることとなりました。今後は、町長として広く町民の皆様方の声をしっかりとお聴きし、町政に反映させ、佐川町の発展、町民の皆様方の生活を守っていくことが、

私に課せられました責務であり、その責任の重大さに改めて身の引き締まる思いであります。また、同日に行われました佐川町議会議員選挙におきまして、当選されました14名の皆様に、改めましてお祝いを申し上げます。今後は、町民の皆様が幸せに暮らすことができますよう、議員の皆様には、あらゆる方面から、御提案、御指導をお願い申し上げたいと存じます。

さて、日本の総人口が減少に転じ、少子高齢化と相まって社会保障費の増大が懸念されております。私も、町内各地域に足を運び、町民の皆様からさまざまな声を聞かせていただきましたが、予想以上に人口減少と高齢化の影響が進んでいることを実感したところがあります。

また、世界中で猛威をふるい、経済を初めさまざまな分野において、大きな打撃を与えた新型コロナウイルスは、日本では今のところ感染状況は落ち着いておりますが、隣国、韓国や欧米諸国において、再び感染が拡大しているなか、新たな変異株であるオミクロン株が日本を含め、世界各国や地域で感染が確認されるなど、全く予断を許さない状況となっております。このような状況の中、緊急事態宣言で影響の大きかった町内の企業や商店などの経済の回復と、人口減少対策が重要な課題であると考えております。

私の、これまでの行政経験を生かし、将来に向けて「一人ひとりが輝く、明るい、元気な温かいまちづくり」を進めるため、町民の皆様からの御意見をお聴きしながら、大胆かつスピード感をもって、6つの実行すべき目標に取り組んでまいります。また、目標を実現させるための各施策や内容につきましては、第5次佐川町総合計画を中心とする、各種計画との整合性を確認し、それぞれの計画の進捗状況を検証しながら、早期に実現可能なもの、少し時間をかけて検討した方がいいと思うものなどを区別し、取り組んでまいりたいと考えております。

私が掲げた6つの実行すべき目標は、「安全で安心して暮らせるまちづくり」「稼げる農林業・商工業の推進」「学校、家庭教育の充実と地域振興」「佐川町で産み、育て、安心して暮らせるまちづくり」「交流、関係人口増の対策」「行財政改革の推進」の6つでございます。それぞれの目標について御説明をさせていただきます。

まず、安全で安心して暮らせるまちづくりについて申し上げます。自主防災組織につきましては、近年、気象変動等による風水害の

局所的な激甚化や頻発化の一方で、高齢化と人口減少に伴い、災害対応への人手不足が懸念されております。今後も安全で安心な地域の構築に向け、防災意識の向上に向けた普及活動や人材育成による組織強化に取り組んでまいります。

避難体制につきましては、高齢者を初め町民の方々が、自助、共助により、安全で迅速に避難できる体制づくりをしっかりと構築していくとともに、不自由なく避難生活を送ることができるよう、拠点避難所のバリアフリー化も再調査し、取り組んでまいります。

消防体制につきましては、各地域の消防施設と設備の充実や、消防業務の広域化も検討するとともに、地域防災の要であります消防団員の確保や、組織力の強化に向けて、取り組んでまいります。

新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種につきましては、国や県の接種方針に基づき、円滑な接種ができるよう、関係機関の協力を得ながら、万全を期して取り組んでまいります。地域医療体制の充実につきましては、今後も高知医療再生機構や高知大学病院、高知医療センターなどの関係機関と連携しながら、引き続き医師確保などを行ってまいります。

次に、「稼げる農林業・商工業の推進」であります。

本町におきましても新型コロナウイルス感染症が、町内の経済へ大きな影響を与えております。このようなことから、町内経済の需要喚起対策を図るとともに、今後の感染状況によりましては、町独自の更なる支援策も検討してまいりたいと考えております。

町産品のブランド化の推進につきましては、JA・商工会・行政が連携し、農林畜産物や特産品を初めとした町産品のブランド力を高め、地域への愛着と誇りの定着を図るとともに、生産者や販売者などの収入増につなげてまいります。その第一歩として、ふるさと納税制度を更に積極的に活用したいと考えております。佐川町を応援したい方々を増やすための魅力発信を行うとともに、寄附者のニーズにあった返礼品の充実を図り、寄附件数及び寄附金の増加に努めてまいります。

農業の振興につきましては、まずは地域で耕作を継続していただいている方々をしっかりと支援させていただくことが重要だと考えております。加えてこれまで以上に関係機関と連携し、耕作放棄地対策や、農地の排水対策を含む基盤整備などを積極的に推進し、作業性の向上を図りながら、野菜等の高収益作物の作付けを推進すること

により、収益性の向上を目指してまいります。また、認定農業者や認定新規就農者の育成、集落営農などの持続可能な農業経営に向けての取り組みを進め、担い手への支援を行ってまいります。

有害鳥獣対策につきましては、「寄せ付けない、侵入を防止する、個体数を減らす」をバランスよく実施しながら、農林業者の生産意欲が減退しないよう対策の強化に努めてまいります。

林業につきましては、自伐型林業の取り組みを維持し、森林整備等補助金事業の推進や森林環境譲与税を活用するとともに、森林所有者への意向調査の拡大や、林産物の生産体制を強化し、林業経営の効率化及び森林管理の適正化に努めてまいります。地場産業の育成につきましては、現在の支援を継続・充実させるとともに、町内企業が稼ぐ力と魅力向上につながるよう、それぞれの企業の特色を生かし、商品づくりへの支援など、新たな起業、創業支援などを検討してまいります。

次に、「学校、家庭教育の充実と地域振興」であります。

全国的に学力の課題、不登校問題、家庭での学習環境の課題など、子供を取り巻くさまざまな課題が見られております。佐川町におきましても同様の課題があり、学校教育や家庭教育の充実と教育による地域振興が期待される状況があります。私が、町政についての町民の願いをお伺いするなかで、次世代育成や教育についての住民の切実な願いを受け止めております。町民の皆様の願いに対しまして、奨学金の返還支援、学校給食の無料化、放課後児童クラブや子ども教室の環境整備など、子育て支援や教育環境の整備に努めながら、来年度から5年間の「第3期佐川町教育振興基本計画」と、同計画の内容をもって充てる「佐川町教育の大綱」に沿って教育委員会をしっかりと支え、町民の願いに答えてまいります。

学校教育の施策につきましては、平成30年度に設置された教育研究所が、ふるさと教育を初めとする「さかわ未来学構想」や不登校問題に取り組んでおり、不登校問題の改善の方向が見られるなど、教育の質の向上について一定の成果が見えておりますことから、継続性を保ちながら一層充実させてまいります。学校施設の整備につきましては、教育環境の質的向上、安全・安心の確保を念頭に置きながら、時代の変化に適切に対応できるような環境整備と児童生徒が安心して学び、生活できるよう安全対策を実施してまいります。

通学路対策につきましては、児童生徒が安心して通学できるよう

に、交通安全、防犯及び防災の観点に基づき、登下校時の巡回指導や安全施設の設置などの対策を推進するとともに、通学路の危険箇所などにつきましては、学校、教育委員会、関係機関等と連携して必要な対策を講じてまいります。

未来を担う子供を育成するために、保育園、保育所と小学校の連携を強化し、非認知力の向上や義務教育の基盤づくりを図るとともに、基礎・基本的学習能力の確実な定着とICT機器等の効果的な活用による授業づくりを通して、子供たちの学力向上を目指してまいります。

家庭教育の推進につきましては、基本的生活習慣の向上を柱に「早寝・早起き・朝ごはん」運動による体力向上と自立の精神の醸成」と連動しながら、生活習慣の改善と家庭生活の安定に取り組んでまいります。

学校給食につきましては、少子化対策といたしまして、小中学校の給食費の無料化を実施するとともに、今後におきましても、引き続き可能な限り地産地消に取り組み、安全で安心できる学校給食の提供を行ってまいります。

次に、社会教育・生涯学習の施策につきましても、新文化拠点の建設、青山文庫、佐川地質館の整備などを進めながら、コロナ禍を克服し、コミュニティーのつながりを立て直し、絆を確かめることを念頭に、充実をしてまいります。

「文教の町佐川」を継承し、教育を振興し、地域振興につなげていくことは、首長としての重要な責務であると心得、力を尽くしてまいります。

次に、「佐川町で産み、育て、安心して暮らせるまちづくり」についてであります。

子供は地域の宝であり、町の宝でもあります。子育て支援につきましても、子供を健やかに産み育て、安心して暮らせるまちづくりが、出生数の増加にもつながるものと考え、出産・子育て環境の充実と、子育て世代包括支援センターを中心に出産前からの切れ目のない、各種支援の充実に努めていくとともに、まずは、町内保育園、保育所の副食費の無料化に取り組んでまいります。

児童虐待防止に関する施策につきましては、地域社会のつながりの希薄化等により、子供と家庭を取り巻く環境が大きく変化しており、妊娠期から子育て期にわたるまで関係機関が連携し、児童虐待

の発生予防などの支援を実施していくことも重要でありますことから、「子ども家庭総合支援拠点」を設置するとともに、児童福祉分野と教育分野等の連携体制も強化してまいります。

高齢者に関する施策につきましては、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者福祉サービスの充実とタクシーチケットの配布による移動手段の確保を行ってまいります。介護予防につきましても、普及啓発をさらに進めることで、住民の皆様への介護予防事業への参加促進を図るとともに、あったかふれあいセンターを活用しながら、社会参加と生きがいづくりの場の提供や環境づくりを進めてまいります。また、生活支援サービスや介護給付サービスなどの提供体制の確保、在宅医療と介護の連携、地域における相談・見守り体制の強化、認知症対策など、高齢者を地域全体で支える体制づくりを進めてまいります。

障害者に関する施策につきましても、住み慣れた地域で安心して、いきいきと暮らすことができるよう、障害福祉サービスの提供体制を確保するとともに、障害者就労施設等への優先発注や調達を継続して実施し、障害者の就労支援を図ってまいります。また、公共施設につきましては、ユニバーサルデザインを基本とした、障害者に優しいバリアフリー化を実施してまいります。特定健診につきましては、受診率向上に向けた取り組みを推進するとともに、健診の結果によるリスクに応じた個別保健指導や訪問活動を行い、対象者の生活習慣改善や健康維持増進、重症化予防に引き続き努めてまいります。

人権問題につきましては、障害者・女性・子供・高齢者など、あらゆる多様性を認め合い、誰もが対等な一員として暮らし、一人ひとりが力を発揮できる社会の実現に向け、地域・職場・学校などあらゆる場における人権学習や啓発活動を進め、人権尊重意識の高揚に努めてまいります。

定住対策につきましては、新規就労者や雇用企業への支援や、住宅取得者への助成金制度、また若者等に対する家賃補助など定住促進対策を検討していき、人口減少の抑制に努めてまいります。

次に、「交流、関係人口増の対策」についてであります。

観光振興につきましては、本町には、多くの観光資源があり、それぞれの資源を点ではなく線として広域的な観光振興に結び付けた滞在型の観光への取り組みを、さかわ観光協会や仁淀ブルー観光協

議会と連携し進めてまいります。

交流人口対策につきましては、県内外や町内関係機関と連携しながら、各スポーツ競技団体へのアプローチを積極的に行い、各種大会などを開催することで、観光PRと町の地名度アップを図り、交流人口増へつなげてまいります。

出会いの機会の創出につきましては、適齢期の男女の出会いの場が少ない現状から、関係機関団体と連携を図りながら、出会いの機会・交流の場の創出に努めてまいります。

最後に、「行財政改革の推進」であります。

行財政改革の推進につきましては、第5次佐川町総合計画に基づき、効率的・効果的な運営を進めるとともに、職員一人一人の意識改革と資質向上を図り、町民の皆様が目配り、気配りと思いやりを持った行政サービスが出来るように取り組んでまいります。また、行政へのニーズが複雑化・多様化する中で、職員の行政能力向上を図るため、各種研修会への参加などを通じ、住民対応能力や企画力など個々の資質の向上に向けての取り組みや、地域に飛び出し、主体的に行動できる職員を育成するため、地域担当職員制度を進めてまいります。

行政のデジタル化につきましては、本町におけるデジタル化の課題やSDGsなどの新たな社会環境の変化を見据え、更なる行政サービスの向上や効率化に取り組んでまいります。

財政につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響、人口減少対策、社会保障費の増加など厳しい状況が続いているため、多様化する住民ニーズを的確に捉えながら、自主財源の確保を図るとともに、事務事業評価による検証、予算の重点配分や事務事業の見直しなどを行い、健全で安定した財政運営に努めてまいります。

以上、私の町政運営に対する所信でございます。

これから政策を進めていく上では、町民の皆様、議員の皆様に御理解、御協力をいただきながら、役場職員にも私の姿勢を示し、オール佐川で町民の皆様と一緒に知恵を絞り、汗をかきながら、佐川町の新たなまちづくりのために、全身全霊で取り組む所存であります。どうぞよろしく願いをいたします。

続きまして、行政報告を行います。

それではまず、「道の駅」につきまして、報告いたします。

「道の駅」につきましては、多くの町民からの要望もあり整備す

ることが決定したものではありませんが、事業の進め方、規模や機能面での問題を訴えてまいりました。町長就任後に担当者から、町民ワークショップ、国及び県補助金の手続、国土交通省所管事業、町の財政運営等、現在までの経緯や進捗状況の説明を受けましたが、現在の計画で国の補助金活用などの手続が急ピッチで進んでおり、補助金を獲得するためには時間的猶予がないため、熟慮いたしました結果、補助金の対象となる物販やレストランなど「道の駅」本体部分につきましては、おおむね現在の計画のままを進めるという判断をいたしました。しかしながら、「道の駅」の一部として、建物の床面積が約3分の1を占める「おもちゃ美術館」につきましては、その必要性や規模について判断する材料が少ないため、もう少し時間をかけてしっかりと検討することといたしました。

この「おもちゃ美術館」につきましては、徳島県板野町に、類似施設である「徳島木のおもちゃ美術館」が本年10月に開業しており、今月16日に議員の皆様、町執行部と一緒に視察に行き、実際に施設を見て、施設の機能面や集客力などについて確認したいと考えております。また、道の駅の経過報告と「おもちゃ美術館」についての御意見をお聴きするため、住民説明会を町内各地区で、12月は平日夜に5回、来年1月は土日の午前中に6回の計11回開催する予定としております。佐川町に整備予定となっております「おもちゃ美術館」の基本構想につきましては、本年6月に完成し、現在は実施計画を作成中ではありますが、その計画の妥当性、施設の規模や採算性、また、子育て支援の観点からも検討を重ね、佐川町に整備すべき施設なのかをしっかりと判断してまいります。

次に、新文化拠点について報告いたします。

新文化拠点は当初、図書館と発明ラボの複合施設とすることで計画が進んでおりました。しかし、町長選挙に立候補するにあたり、町民の皆様の御意見を直接お伺いするなかで、発明ラボにつきましては、その内容と成果が十分ではなく、図書館と発明ラボとの複合施設にすることへの違和感が多くの方から寄せられました。私も複合施設とすることにつきましては、再考の必要性があると考えておりました。これにつきましては、議員の皆様にも「慎重かつ丁寧な進め方が必要である」と御説明申し上げ、これまでの経緯、現状、将来的な見通しを考え、最適な方向性について検討をいたしました。

まず、図書館と発明ラボにつきましては複合施設とせず、図書館

の一部を町民の皆様の交流スペースとし、子供たちや一般の方々が、情報技術を活用しながら、生涯学習に取り組む場といたします。これにつきましては、基本構想の中に「本を借りるだけの機能から、知り、学び、体験するといった多様性のある学びができる拠点とし、情報発信力を高める。」と記述されており、この趣旨にも合致していると考えるところであります。

また発明ラボの場所につきましては、現在の開設場所からは移転しないことといたします。これはラボに設置しておりますレーザーカッターや3Dプリンターなどデジタルファブ리케이션のための高額な機材は、新文化拠点開館時には、設置から8年が経過し、更新時期を迎えますが、今後の有効性と成果を今一度確認し、開設場所も含めた運営の方向性と機器の更新の可能性を検討していくことが妥当であると判断したものです。

今後、これらの点につきましては、基本計画策定委員会の皆様に御説明申し上げ、了解をいただくとともに、基本計画の充実をお願いしてまいります。また、基本設計の事業者選定のためのプロポーザルにつきましても、予定通り進め、その後もスピード感を持って、建設・開館に向けて遅滞のないように進めてまいります。

次に、新たな管理型産業廃棄物最終処分場について報告いたします。

11月18日の高知新聞に、県は17日に開催された施設整備専門委員会で新たな処分場の完成を2024年度末とすることを示したとの記事が掲載されておりました。

これに先立ち、当町には11月5日に県及びエコサイクル高知より、日高村の「エコサイクルセンター」の満杯時期が、廃石膏ボードのリサイクル化が進んだことにより、2025年6月ごろとなる見通しであること、また、新たな施設完成までの工期を3年と見込んでおり、エコサイクルセンターの満杯時期を見据え、今年度中に環境保全協定を締結した上で、施設本体工事に着手する予定であるとの報告を受けております。また、実施設計につきましては、施設の安全性確保を大前提としながらも、仕様等の見直しにより事業費の圧縮が進められ、その設計内容につきましては、施設整備専門委員会において、各委員の御理解を得たと伺っております。この実施設計の概要につきましては、建設工事に着手するまでに、加茂地区のみならず、佐川町全域の住民の皆様に、説明の機会を持っていただくよ

う県に要望をしております。

一方、最終処分場の整備、管理・運営に当たり、地域住民の皆様の安全確保や生活環境を守るために必要な措置を定める環境保全協定の内容につきましては、8月末日付けで加茂地区の全世帯に送付させていただきましたアンケートにお寄せいただいた御意見を、県やエコサイクル高知と協議、検討をさせていただきました。この内容や検討結果につきましては、12月19日に開催予定の加茂地区住民説明会でお示しさせていただくとともに、実施設計の概要を初め、長竹川の増水対策などの周辺安全対策、地域振興策の取り組みについての説明も予定しております。

次に、佐川町社会福祉協議会が設立した「コロナに負けん！チーム佐川支えあい基金」に関する内容について報告いたします。

まず、「チーム佐川営業時間短縮要請対応臨時給付金」について報告いたします。

この給付金は、高知県が実施している「高知県営業時間短縮要請対応臨時給付金」の給付の決定がされた事業者に対しまして、法人には20万円、個人には10万円の給付金を給付するものですが、対象期間である令和3年5月及び6月分につきましては、申請期限の10月29日までに、法人20件、個人61件、合計で1,010万円の申請を受け、給付を実施いたしました。また、対象期間が令和3年8月及び9月分につきましては、申請期限を令和4年1月31日までとしており、11月30日までに法人8件、個人21件、合計で370万円の申請を受け、給付を実施しております。

次に、「チーム佐川事業継続支援給付金」につきましては、町内事業者のうち、これまでに持続化給付金・高知県休業等要請協力金などの給付金を受給してもなお、所得が100万円以上減少した事業者に対し、100万円を上限に、所得減少金額の20%相当額を給付するもので、申請期限の9月30日までに21件、合計で1,277万4千円の申請を受け、給付を実施しております。

次に、感染予防の徹底に関するものとして、利用者が安心して飲食できるよう、感染症対策に取り組む飲食店の事業者に対し、その取り組みを応援するための「チーム佐川あんしん会食推進給付金」につきましては、申請期限を令和4年3月15日までとしており、11月30日までに7件、合計で70万円の申請を受け、給付を実施しております。

続きまして、各課の所管事項について、これまでの行政報告と重複する内容もございますが、報告をさせていただきます。

初めに、チーム佐川推進課の所管事項でございます。

まず、地域公共交通について報告いたします。

本年6月に開催いたしました「佐川町地域公共交通会議」での協議結果を受け、10月1日よりさかわぐるぐるバスの経路の一部変更とダイヤ改正を行いました。

主な経路変更につきましては、「加茂・荷稻線」において、地域住民から要望のあった三野伏尾地区への乗り入れを開始するとともに、他の路線においては安全なルートへの小規模な見直しを行いました。また、住民からの要望を受け、中心部のスーパーマーケットなどでゆっくりと買い物ができる時間を確保することができるようダイヤ改正を行いましたが、10月以降も大きな混乱はなく、順調な運行ができております。夏以降の乗客数の実績は、8月は全路線合計が795人で昨年同月比3%アップ、9月は同じく794人で5%アップとなりました。特に10月は899人で同じく13%の大幅アップとなっております。この10月の乗客数は、平成29年10月の運行開始以来、過去最高を記録いたしました。

今後につきましても、地区別の意見交換会や個別訪問を引き続き行い、きめ細かな住民ニーズを把握し、利用促進を図るとともに、車内に空気清浄機を設置するなどの新型コロナウイルス感染防止対策を行い、安全で信頼される公共交通網の維持・発展に努めてまいります。

次に、観光振興事業について報告いたします。

着地体験型観光による地域資源の発掘など、まちの活性化の目玉事業として、平成30年度から取り組んでまいりました「わんさかわっしょい体験博」が、9月4日から10月10日までの日程で開催されました。しかしながら、第3回目となった今回は、県内での新型コロナウイルスの感染拡大と、全国的に広がった第5波の影響をまともに受け、一部プログラムの開催中止や日程変更が相次ぐ事態となりました。

そのコロナ禍での最終実績といたしましては、当初予定しておりましたプログラム24件中、開催できたのは17件であり、売上金額の合計40万円は前回は35%減、参加者総数143名は同じく24%減となっております。この結果を参加者アンケートから分析いたしま

すと、高知市に「まん延防止等重点措置」が発令されたことから、高知市からの参加者数が大幅に減少しており、家族や知人に感染させるリスクの回避などにより複数人数での参加も大きく減少するなど今までにない非常に厳しい状況となりました。

一方で明るい材料も見られております。例えば、「草木染め体験」や「ショートケーキ作り体験」、「生食パン作り体験」など、定番となっている人気プログラムは毎回内容が更新され、かつ、客単価もアップするなど、リピーターが増えております。また、複数のプログラムに参加する方の割合も年々伸びております。新たな事業者の参加により、多種多様なプログラムが用意され、中でも「化石掘り体験」や「山野草天ぷらランチ」など、佐川町らしい魅力的なプログラムが目につくようになってまいりました。

これらのことから、第3回目を終え、一定のコアな佐川町ファンが定着しつつあり、開催する事業者にとって収益増はもちろん、認知度向上と更なるチャレンジにつながる相乗効果が発揮されているものと思われまます。今後につきましても「わんぱく」を継続することで、町内のお宝発見や事業承継・担い手育成を図るとともに、町内外の多くの方々に、日常では味わえない佐川町の魅力を体験していただきたいと考えております。

次に、牧野公園整備事業について報告いたします。

牧野公園では、四季を通じて楽しむことができるよう、牧野富太郎博士ゆかりの山野草の植栽を進めるなど、「みんなで育てる公園」を目指して、多くの方々がボランティア活動に参加していただいております。

現在、公園内では遊歩道の整備や修繕を行うなど、さまざまな植物を楽しみながら散策していただけるよう整備を進めております。11月中旬ごろには公園内の紅葉も見ごろとなり、多くの観光客の方に牧野公園の紅葉と植物を楽しんでいただくことができたと思っております。

11月20日から23日の間には、さかわ観光協会が、来園者にお茶での「おもてなし」を行い、多くの方から公園内の整備や植物の手入れなどに、お褒めの言葉をいただきました。こうした言葉をいただくことができましたのも、日ごろのボランティアの皆様愛情ある活動があつてのことと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

次に、広報広聴事業について報告いたします。

昨年末から、「広報さかわ」を中心とした現状の広報広聴体制を見直し、タイムリーできめ細かな情報発信と、町民からの情報収集による行政サービスの向上を図るため、無料通信アプリLINEの活用を開始いたしました。

このLINEはSNSの中で、年齢性別を問わず、最も利用者の多いアプリであり、また全国の自治体にも多く活用されております。佐川町公式LINEアカウントの友だち数は10月末で約500人とまだまだ少なく、今後におきましても友だち数を増やすため、取り組みを進めてきたところでございます。その推進策として、11月20日から佐川町公式LINEの機能に関する3つのバージョンアップを実施いたしました。

一つ目は、防災行政無線との連携機能であります。

防災行政無線システムの更新に伴い、防災行政無線で放送された内容を文字情報として、LINEアプリを通じて住民のスマートフォンに配信できるようになり、災害・防犯などの緊急情報の聞き逃しや、悪天候時の聞こえづらさが解消できることや、町外にいる場合でも情報を入手することができるようになります。

二つ目は、住民から役場への情報提供機能であります。

例えば、住民が道路や河川の損傷、がけ崩れなどを発見した際、位置情報と現場写真を同時に送信していただくことで、電話をしていただかなくても、正確な情報を伝えることができるため、緊急通報が容易になります。

また、状況にもよりますが、役場が情報を受信した際、現場に行かなくても被害状況に応じた速やかな復旧対応が可能となることから、迅速な安全確保はもちろん、職員の事務負担軽減にもつながることが期待されております。

三つ目は、住民ニーズや個人特性に合わせた行政情報の配信が可能となることでもあります。

住民が登録時に性別や年齢、居住地区、配信希望情報種別を選択できるようになるため、内容に応じて情報を届けたい人と情報が欲しい人がマッチングされ、より効果的な情報伝達ができるようになります。

今後につきましては、佐川町公式LINEアカウントのバージョンアップを契機に、数多く存在する情報伝達手段のそれぞれの特性

を見直し、より効果的で無駄がなく、より相手に伝わる情報伝達ができるよう、広報広聴の推進を図ってまいります。

次に、総務課の所管事項でございます。

職員採用について報告いたします。

令和3年度の職員採用につきましては、事務職と土木技術職の社会人経験者の募集を行いました。残念ながら、土木技術職の応募はなく、事務職のみとなっております。また、今回の採用試験につきましては、当初8月21日、22日の日程で実施するようでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、2度の延期をいたしました。

その後、当初の予定より2カ月後となりました10月16日及び17日に、第1次試験を実施いたしました。当初の応募から試験日まで期間が空いてしまったことも影響しているのか、申込者数に対し、受験者数がかかなり減り、最終では23名となりました。なお、11月14日に第2次試験を実施いたしました結果、佐川町職員の一員として、今後の活躍が期待される4名を採用することといたしました。

なお、退職者などの補充として予定をしておりました採用人数に達しなかったことから、再度募集を行い、採用試験をする予定としております。

次に、健康福祉課の所管事項でございます。

新型コロナウイルスのワクチン接種について報告いたします。

町内におきまして5月中旬から本格的に開始いたしました新型コロナウイルスのワクチン接種につきましては、接種意向確認書などによって町内での接種を希望された町民の方全員について、2回の接種が10月中に完了いたしました。一方、11月以降に接種を希望される方には、近隣の市町村と連携して接種体制を維持しており、佐川町民の方は、原則として、越知町の北島病院で接種していただくことになっております。

11月30日時点の接種状況を申し上げますと、2回接種した方は、9,903人で、接種対象となっております12歳以上の人口の85.4%となっております。年代別の接種率は、65歳以上が86.9%、60～64歳が89.8%、50～59歳が88.9%、40～49歳が85.9%、30～39歳が83.2%、20～29歳が72.8%、12～19歳が79.6%となっております。

町として一つの目安としておりました接種率70%を全体として大きく超え、かつ、全ての年代で超えたことは、年代を問わず、多くの

町民の方々が新型コロナウイルスのワクチン接種を前向きに考えていただいた結果であり、感染拡大防止を図る観点から大きな成果と考えております。

3回目接種の開始時期につきましては、おおむね2回目接種の8カ月後とされておりますことから、年内には医療従事者の接種が始まり、一般の町民の方の接種は、来年の2月中旬以降、65歳以上の高齢者の方から順次始まる見込みであります。接種体制につきましては、現在、町内の医療機関と調整しながら、検討を進めているところですが、基本的には、1回目、2回目と同様に医療機関での個別接種と健康福祉センターかわせみでの集団接種を組み合わせた体制を取ることにしております。

また、町民の皆様への接種の御案内につきましては、接種を希望される方がスムーズに接種できるように、接種場所や接種日時を指定させていただき、都合の悪い方の日程調整や、接種を希望されない方などのキャンセルをお受けする方法を軸に検討いたしております。3回目接種の詳細が決まりましたら、町広報や防災行政無線等でお知らせさせていただきます。

次に、産業振興課の所管事項でございます。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業として、プレミアム付き商品券事業とスタンプラリー事業を実施いたしております。

まず、さかわプレミアム商品券について報告いたします。

商品券は、9月1日から11月1日まで販売を行い、2万5,848冊が販売されました。商品券の使用期間は、令和4年1月31日までとしており、11月30日時点で、町内180店舗で利用できるようになっておりますが、使用期限を過ぎると無効となりますので、期限内に御使用いただきますようお願いいたします。

次に、スタンプラリー事業について報告いたします。

今年度も10月1日から開始しており、1月31日までの4カ月間で実施をしております。今回は、少しでも多くの参加店舗を回っていただけることを期待し、4種類のスタンプを集めていただくようにしております。

参加店舗数は昨年度に比べ、15件増の155店舗に参加していただいております。前回同様、町外からの応募者も見受けられ、今回も商店街の賑わいと売上げの増加につながることを期待しております。

次に、長竹川河川改修に伴う農業用水のための取水堰に関する説明会について報告いたします。

高知県は、管理型産業廃棄物最終処分場整備に伴う周辺安全対策として、長竹川の河川改修が計画されておりますが、河川改修に伴い、取水堰の改築工事が必要となっております。このため、11月21日に加茂小学校体育館におきまして、長竹川に設置されている取水堰から農業用水を利用している土地所有者と耕作者の方を対象に、高知県中央西土木事務所越知事務所とともに第1回の説明会を開催いたしました。

説明会では、越知事務所から、河川改修の計画や現時点での改修後のイメージ、堰改築に伴う取水イメージなどの説明がされました。参加者からは、河川改修に対する御意見や御要望のほか、河川改修と取水堰改築に伴う費用負担につきましても御質問をいただきました。次回からは、取水場所によるエリア分けを行い、説明会でいただいた御意見や御要望を踏まえ、より詳細な説明と意見集約を行っていくこととしております。今後におきましても、住民の皆様の声を聞きながら高知県と一緒に調整を行い、事業がスムーズに進められるよう努めてまいります。

次に、建設課の所管事項でございます。

まず、水道事業について報告いたします。

5カ年計画に基づき、進めております町中心部の基幹管路の耐震化工事につきましては、本年度が最終年度となり、中本町から富士見町にかけての約400メートル区間を、来年1月末の竣工を目指して進めております。また、配水管の耐震化工事につきましても、拠点避難所に指定されております斗賀野小学校から東組交差点にかけての約470メートル区間を、同じく1月末の竣工を目指して進めております。本年度の工事区間には、ともに量販店や商店があり、また、交通量も多いことから、住民の皆様には御不便、御迷惑をお掛けしておりますが、細心の注意を払い、工事を進めておりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

今後も、計画的に水道施設の耐震化を実施することにより、地震による断水などのリスクを軽減するとともに、安全で強靱な水道の持続化を目指してまいります。

次に、新たな管理型産業廃棄物最終処分場建設に伴う地域住民の不安解消のための取り組みとして実施する上水道の整備について報

告いたします。

長竹、竹ノ倉、横山地区への上水道整備につきましては、11月上旬に地区ごとに配水管布設工事の請負契約を締結し、来年2月末の竣工を目指して工事を進めているところであります。

この3地区におきまして、水道事業での給水がなされていない方々に対しまして、給水を行うために必要となる配水管を布設することにより、生活用水に係る不安を解消することで、将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、今後も引き続き必要な環境整備を進めてまいります。

次に、教育委員会の所管事項でございます。

まず、新型コロナウイルス感染症対策について報告いたします。

小中学校と放課後児童クラブ・放課後子ども教室では、保護者の御理解を得ながら、3密を避け、マスクの着用や消毒の励行、行事の簡素化など、感染防止対策を継続しております。また、社会教育関係団体の皆様にも、3密を避け、マスクの着用、消毒の徹底など、感染防止対策に御協力をいただいております。

小中学生の保護者の皆様や社会教育関係団体の皆様などの御理解、御協力に対しまして、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

国や県におきましても感染者数が減少しており、警戒レベルが下がってきたことから、制限や抑制をしましてまいりました学校への人の出入りや、部活動の活動時間及び対外試合、児童生徒の校外活動などにつきましては、徐々に緩和し、通常の教育活動に戻す方向に向かっております。社会教育施設の利活用につきましては9月18日から平常どおりとしております。

なお、これから年末・年始に向かい、第6波の感染拡大も心配されておりますことから、今後の感染状況を見据えながら、その都度、迅速に的確に対応してまいりたいと考えております。

また10月28日から11月5日にかけて開催いたしました「第47回佐川町文化祭」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加は舞台出演が11団体、一般の作品展示が約250点となり、小中学生の作品約600点を除くと、例年の約半数となりましたが、感染症対策を実施しながら開催いたしました。

芸能部門の発表と一般の作品展示が行われた10月28日から10月31日までの4日間につきましては約400名の入場があり、「良かった」という声もいただいております。

次に、第3期教育振興基本計画の策定について、報告いたします。

市町村教育振興基本計画は、教育基本法第17条第2項に基づき、市町村が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画で、佐川町では平成24年度から5年ごとに策定され、令和4年度からの5年間の計画が第3期となります。現在、教育研究所を中心に、教育委員、校長会、町PTA連合会それぞれの代表者3名に学識経験者1名を加え4名で策定委員会を開催し、策定を進めております。

委員会は5回開催予定としており、「文教のまち佐川を継承し、教育による豊かな人づくりを進める」ことを基本理念とし、「自分や他者を大切にできる、豊かな心の育成」「生涯にわたる、豊かな学びの実現」「ふるさとに愛着を持ち、社会に貢献できる人づくり」の三つの目標に対して、「佐川ならではの教育の推進」「豊かな心と健やかな体の育成」「生涯学習の推進」「教育施策推進のための基盤強化」の四つを施策の柱として取り組むところまで、審議が進んでおります。

第3期計画は、令和元年度から取り組んでまいりました、不登校対策と「さかわ未来学構想」による学びの取り組みのなかで、不登校問題の改善など一定の成果が見えておりましたので、この取り組みを充実させ、合わせて社会教育の振興を目指す計画となるものと考えております。この計画は3月末までに策定し、令和4年度からの学校教育、社会教育の方向性が確かなものになると期待しております。

なお、本町では、この「教育振興基本計画」を「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」によって策定が義務づけられております、教育、学術及び文化の振興に関する総合的施策の大綱である「教育の大綱」と兼ねており、計画に基づく取り組みの達成状況を継続的に把握・評価し、その結果を踏まえた計画の改善を図るといった適切な進行管理を行うために、今後も町長が主催する「教育総合会議」で協議してまいります。

最後に、高北病院の所管事項でございます。

医師確保について報告いたします。

本年度は、新たに高知医療再生機構、高知大学の御協力により、常勤医師、非常勤医師及び当直医師を派遣していただいております。常勤医師の負担軽減が一定できているところです。来年度の医師確保につきましては、現在各方面に御相談をさせていただいているとこ

ろであり、今議会終了後には院長とともに高知大学の複数の医局へ御相談にお伺いする予定にしております。

今後も、地域の皆様の期待に応える病院づくりに取り組んでまいりますので、引き続き、病院事業に一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

本定例会に提出いたしました付議事件は、補正予算案を含む議案が7件、諮問3件、同意案2件となっております。

御審議のうえ、適切なる御決定を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。ありがとうございました。

議長（西森勝仁君）

以上で、行政報告を終わります。

日程第5、請願・陳情についてを議題とします。

本日までに受理した請願・陳情はお手元に配付しました請願・陳情文書表のとおりです。

受理番号3号、4号を産業厚生常任委員会に付託します。

ここで、20分まで休憩をします。

休憩 午前10時10分

再開 午前10時20分

議長（西森勝仁君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第6、諮問第1号、人権擁護委員候補者の推薦についてから、日程第8、諮問第3号、人権擁護委員候補者の推薦についてまで以上3件を一括議題とします。

町長の説明を求めます。

町長（片岡雄司君）

それでは、諮問案件について御説明を申し上げます。

諮問第1号、人権擁護委員候補者の推薦につきましては、令和4年3月31日をもって任期満了となります宇賀さよ子氏の後任といたしまして竹村房子氏を推薦したく、議会の意見を求めるものであります。

竹村氏につきましては、保育士として勤務されるとともに、PTAの役員や子ども劇場の事務局長を務めるなど、長年にわたり子供とかかわりのある活動をされており、人格識見高く広く社会の実情

に通じています。また、人権擁護につきましても高い見識を持たれており、誠実なその人柄は人権擁護員として適任者であります。どうぞよろしくお願いをいたします。

諮問第2号、人権擁護委員候補者の推薦につきましては、令和4年3月31日をもって任期満了となります安田節子氏の後任といたしまして永田美和氏を推薦したく、議会の意見を求めるものであります。

永田氏につきましては、長年にわたり小学校の教諭として御勤務された経験や、少年剣道クラブを指導してきた経験を生かし、地域で御活躍されており、人格識見高く、広く社会の実情に通じています。また、人権擁護につきましても高い見識を持たれており誠実な人柄は人権擁護員として適任者であります。どうぞよろしくお願いをいたします。

諮問第3号、人権擁護委員候補者の推薦につきましては、令和3年3月31日をもって任期満了となりましたが、後任者が決まらず、引き続きその職務を行っていただいていた山口良子氏の後任といたしまして、岡添正弘氏を推薦したく、議会の意見を求めるものであります。

岡添氏につきましては、地域自主防災組織の会長、保育園の保護者会会長やスポーツ推進委員などを務められ、地域住民からの信頼も厚く、人格識見高く、広く社会の実情に通じています。また、人権擁護につきましても高い見識を持たれており、温厚誠実なその人柄は人権擁護委員として適任者であります。どうぞ、よろしくお願いをいたします。

議長（西森勝仁君）

お諮りします。

本件は、お手元に配付しました意見のとおり答申したいと思いません。

御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

したがって、諮問第1号から諮問第3号までお手元に配付しました意見のとおり答申することに決定しました。

日程第9、同意案第5号、佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長（片岡雄司君）

それでは、同意案件について御説明を申し上げます。

同意案第5号、佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任につきましては、現委員であります藤本尊史氏の任期が令和4年2月28日で満了となることから、次期についても藤本氏を選任したく議会の同意を求めるものであります。

藤本氏は真摯な人柄に加え、温厚で責任感が強く、また、広く社会の実情にも通じておられ、委員として適任者であります。どうぞよろしくお願いをいたします。

議長（西森勝仁君）

本案は人事案件ですので、質疑・討論を省略し、お諮りすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第5号、佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任について、同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第5号は同意することに決定いたしました。

日程第10、同意案第6号、佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長（片岡雄司君）

同意案件について御説明を申し上げます。

同意案第6号、佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任につきましては、現委員であります岡本直美氏の任期が令和4年2月28日で任期満了となることから、次期についても岡本氏を選任したく議会の同意を求めるものであります。

岡本氏は真摯な人柄に加え、温厚で責任感が強く、また、広く社会の実情にも通じておられ、委員として適任者であります。どうぞよろしくお願いをいたします。

議長（西森勝仁君）

本案は人事案件ですので、質疑・討論を省略し、お諮りすること

に御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

これから採決を行います。

この採決は起立によって行います。

同意案第 6 号、佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任について、同意することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員。

したがって、同意案第 6 号は同意することに決定いたしました。

日程第 11、議案第 77 号、令和 3 年度佐川町一般会計補正予算（第 8 号）から日程第 17、議案第 83 号、佐川町病院事業管理者の給料と及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてまで以上、7 件を一括議題といたします。

提案者の説明を求めます。

町長（片岡雄司君）

それでは、議案について御説明を申し上げます。

議案第 77 号、令和 3 年度佐川町一般会計補正予算（第 8 号）につきましては、今回、歳入歳出それぞれ 3 億 430 万 6 千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 91 億 4,406 万 2 千円とするものであります。

議案第 78 号、令和 3 年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）につきましては、今回、歳入歳出それぞれ 132 万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 19 億 5,140 万 2 千円とするものであります。

議案第 79 号、令和 3 年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第 2 号）につきましては、収益的収入予算及び資本的収入予算の増額補正を行うもので、収益的収入の既決予算額を 17 億 9,943 万 8 千円に補正し、資本的収入の既決予定額を 1 億 2,227 万円に補正するものであります。

議案第 80 号、佐川町職員定数条例の一部を改正する条例の制定につきましては、町長の事務部局の職員の定数並びに教育委員会の事務部局及び教育委員会の所管に属する学校以外の教育機関の職員の定数を増やすため、条例の一部を改正するものであります。

議案第 81 号、佐川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定につきましては、全世帯対応型の社会保障制度を構築するため

の健康保険法等の一部を改正する法律が令和3年6月11日に交付され、同じく同法律に係る関係政令が令和3年9月10日に交付されたことに伴い、関係規定を改正するため、条例の一部を改正するものであります。

議案第82号、佐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定につきましては、健康保険法施行令等の一部を改正する政令が令和3年8月4日に交付され、令和4年1月1日より施行されることに伴い、関係規定を改正するため、条例の一部を改正するものであります。

議案第83号、佐川町病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、病院事業管理者の給料月額及び宿日直手当の額を増額するため、条例の一部を改正するものであります。

以上が本定例会に提出させていただく付議事件でございます。

各議案の詳細につきましては、担当課局から説明をさせていただきますので、どうかよろしく願いをいたします。

総務課長（麻田正志君）

それでは、私からは議案第77号、令和3年度佐川町一般会計補正予算（第8号）につきまして、その主なものについて御説明をさせていただきます。

補正予算書の4ページをお開きください。4ページになります。

4ページ目の方は第2表の繰越明許費の補正となっております。

表の6款商工費、1項商工費、事業名花見事業の200万円は、花見事業につきましては来年3月に事業が開始され、4月に事業が終了となることから繰り越しをするものとなっております。

その下になります7款土木費、1項道路橋梁費、事業名地方道路交付金事業の2,404万9千円につきましては、町道竹ノ倉3号線ほか1路線道路改良工事などにつきまして、地元調整に不測の日数を要したため、繰り越しをするものとなっております。

その下の7款土木費、2項河川費、事業名河川総務費の3,830万7千円につきましては、普通河川玉割川、河川改修工事につきまして、地元調整に不測の日数を要したため、繰り越しをするものとなっております。

続きまして5ページをごらんください。

こちらのほうは第3表、地方債の補正となっております。

上段の表の1追加、起債の目的欄の遊学館空調整備事業につきましては、設置から36年が経過しております遊学館の空調機を新たに設置するための財源とするため、追加するものとしております。限度額は130万円としております。なお、起債の方法、利率、償還の方法につきましては、令和3年度の一般会計の当初予算の地方債と同じ内容となっております。

その下の表の2変更、起債の目的欄の道の駅整備事業につきましては、道の駅浄化槽設置工事の実施に伴い、限度額を1,800万円増額いたしまして、6,940万円に変更するものとなっております。

次に、事項別明細書の16ページ、17ページをお開きください。16ページ、17ページになります。

それでは、主な歳出の説明をさせていただきます。

17ページの上から2つ目の表の上から数えまして3段目の2款、1項、4目企画費、7節報償費の2,100万円とその2つ下の段になります11節役務費1,624万8千円は後ほどの歳入で説明いたします、ふるさと納税に係る寄附金の増額見込みに伴いまして、返礼品や郵送料等の経費を増額するものとなっております。

その2つ下の段になります、24節積立金の説明欄、ふるさと納税寄附金基金積立金の7千万円、これも後ほどの歳入で説明いたします、先ほどと同様、ふるさと納税にかかる寄附金の増額の見込み額を基金に積み立てるものとなっております。

そこから数えまして3つ下の段になります、11目新型コロナウイルス対策費、18節負担金補助及び交付金の説明欄、チーム佐川支えあい補助金の700万円は、佐川町コロナに負けんチーム佐川支えあい基金造成補助金となっております、高知県がコロナ感染拡大に対する支援策として実施します、営業時間短縮要請対応臨時交付金、こちらの交付金のほうに佐川町が上乘せして実施する支援につきまして、高知県への申請済み件数から想定されます佐川町の給付額に、当初見込んでおりました予算に対しまして予算不足が見込まれることから、今回増額補正するものとなっております。

続きまして18ページ、19ページをお開き下さい。18ページ、19ページになります。

19ページの1番上の段になります、3款、1項、1目社会福祉総務費、19節扶助費の説明欄、福祉医療費（重度）の300万円、こちらのほうは高齢者の心臓疾患による身体障害者手帳1級、2級の取

得が多くなっており、対象となる福祉医療費が増加しているため、増額するものとなっております。

その下になります、障害者日常生活用具給付費の104万7千円、こちらのほうは、ストマ、紙おむつの需要が増加したことや、転入、退院によりたん吸引器、特殊寝台などの利用が必要となった対象者がいたことにより増額をするものとなっております。

その下になります、障害福祉サービス費の2,500万円はサービス利用者の増加によりまして、居宅介護、共同生活援助、就労継続支援、計画相談の給付費が増加しているため、増額するものとなっております。

同じ19ページの中ほどになります、3項、1目児童福祉総務費、19節扶助費の説明欄、障害児通所等サービス費の720万円は町内の共生型施設のほうの事業参入によりまして、放課後等デイサービス事業の利用実績が昨年度より大きく増加しているため、増額するものとなっております。

その下の段になります、22節償還金、利子及び割引料の説明欄、子どものための教育・保育給付交付金返還金（過年度分）の107万円は実績見込みに基づき、交付決定され、翌年度の実績報告により、精算されることとなっており、令和2年度分につきまして過大交付となりました国、県からの負担金の超過分を返還するものとなっております。

その下の段になります、2目児童福祉費、10節需用費の3万8千円と、その下の段の11節役務費の22万9千円と、その2つ下の段になります18節負担金・補助及び交付金の9,500万円は18歳以下の子供に対して、対象となる子供1人あたり5万円を支給する子育て世帯への臨時特別給付金に係るものとなっております。

続きまして20ページ、21ページをお開きください。20ページ、21ページになります。

21ページの上から数えまして3段目になります、4款、1項、1目保健衛生総務費、12節委託料の説明欄、養育支援訪問委託料の129万8千円は当初の見込みを上回る乳幼児健診後のフォローや相談案件が生じたことにより増額するものとなっております。

そこから数えまして3つ下の段になります、2目予防費、7節報償費の11万円と、その下の10節需用費30万円と、その下の11節役務費140万2千円、合計いたしますと181万2千円になりますが、

この181万2千円は新型コロナウイルスワクチン接種の3回目の接種につきまして、医療従事者から順次実施していくことが国から通知され、接種券の作成、送付や集団接種の準備が必要となったことから補正するものとなっております。

その2つ下の段になります、3目老人保健費、12節委託料の説明欄、システム改修委託料の376万2千円は健診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業といたしまして、健診結果等の様式の標準化整備と、健診情報連携システム整備事業に伴う、健康管理システムの改修が必要となったことにより補正するものとなっております。

その下の段になります、5目他会計繰出金、27節繰出金の説明欄、国保特別会計繰出金の587万7千円は、令和3年度財政安定化支援事業繰入基準額の決定や、令和2年度実績に伴う、地方単独事業波及増分の額が示されたことにより、今回、国民健康保険特別会計へ繰り出しをするものとなっております。

その下の表になります、2項、1目清掃施設費、12節委託料の説明欄。ごみ収集委託料の△1,034万7千円は一般廃棄物収集運搬委託費の見積もり合わせの結果、不用となった額を減額するものとなっております。

続きまして、22ページ、23ページをお開きください。

23ページの中ほどからちょっと下の表になります。5款、2項、2目林業振興費、18節負担金補助及び交付金の説明欄、原木増産推進事業の△202万7千円は高知県が実施いたします事業に、佐川町が上乘せして実施している事業となっております、令和3年度からこの県の補助対象期間が6カ月から3カ月に短縮されたこと、及び、当初4名の補助対象者のほうを見込んでおりましたが、実施する補助対象者が2名となったことにより今回減額するものとなっております。

その下の表の6款、1項、1目商工振興費、14節工事請負費の説明欄、道の駅浄化槽設置工事の2,647万7千円は道の駅の整備に伴い活用する交付金の制度により令和3年度に事業着手することとなり、浄化槽の設置工事を先行で実施するため、補正をするものとなっております。

その下の表になります、7款、1項、3目道路橋梁新設改良費、12節委託料の△352万2千円は測量試験費の入札残額を減額し、その下の段の14節工事請負費の52万2千円と、次の25ページの1番上

の段にあります、21 節補償、補填及び賠償金の 300 万円に組み替えをするものとなっております。この 21 節の補償につきましては、工事に支障となる倉庫の移転について、地元有権者との調整が想定より進んだため、事業の促進を図るため、組み替えをして実施するものとなっております。

24 ページ、25 ページをお開き下さい。

25 ページの 1 番上の段が先ほど説明をいたしました補償の 300 万円となっております。

その下の表の 2 項、1 目河川総務費、12 節委託料、△164 万 3 千円と、その下の段の 14 節工事請負費の 648 万 1 千円と、その下の段の 21 節補償、補填及び賠償金の△483 万 8 千円は委託料の測量試験費については入札による残額を、補償費につきましては、当初想定より対象物件が少なく済んだことによりまして、その残額をそれぞれ工事費のほうに組み替えをするものとなっております。

その下の表になります。4 項、1 目住宅管理費、10 節需用費の説明欄、修繕費の 358 万円は、こちらは町営住宅の修繕費となっております。町営住宅全体の老朽化に伴いまして、修繕件数などが増加しており、当初見込みを上回ることも今後見込まれるため、今回増額をさせてもらうものとなっております。

その下の段になります 2 目住宅総務費、18 節負担金・補助及び交付金の説明欄、耐震改修費補助金の 1,774 万 9 千円は本年度は例年と比較いたしまして、住宅所有者からの住宅耐震化支援事業に関する補助申請が多くあり、過年度実績等から見込んでおりました当初予算が不足する見込みであるため、増額をするものとなっております。

その下の表の上から数えまして 4 段目になります、9 款、1 項、7 目国内外交流費、8 節旅費の△200 万 8 千円と、その下の段の 10 節需用費の△5 万 2 千円と、その下の段の 11 節役務費の△4 万 5 千円と、その下の段の 13 節使用料及び賃借料の 2 千円、合計いたしますと 210 万 7 千円となりますけれど、この金額につきましては常呂町佐川町児童生徒体験交流学習事業に係る経費となっており、新型コロナウイルス感染症のため、訪問しての交流を見送ったことにより、減額するものとなっております。

続きまして 26 ページ 27 ページをお開きください。

27 ページの下から数えまして、下から数えまして 4 段目になりま

す。4項、10目文化会館費、14節工事請負費の説明欄、桜座施設整備改良工事等の653万7千円は10月に実施いたしました桜座の電気設備の年次点検、こちらのほうの点検で高圧区分開閉器、高圧電気引き込み用ケーブル、力率調整器等が早急に改修、交換等の対応が必要であるという指摘を受けたことから補正し、対応するものとなっております。

続きまして、28ページ、29ページをお開きください。

29ページの上から2つ目の段になります。11目遊学館費、14節工事請負費の説明欄、遊学館空調改修工事の135万3千円につきましては遊学館の1階の老人の憩いの家のほうに設置してあります空調機につきまして現在まで修繕を重ねて対応をしてまいりましたが、設置から既に36年が経過しておりまして、交換部品もなくなったことにより、新たに設置するため補正をするものとなっております。

同じ29ページの中段より下の表になります、10款、2項、2目がけくずれ住家防災対策費、12節委託料の△150万円とその下の段の14節工事請負費の△450万円は、当初事業化を見込んでいた対象のうち、1件の事業取り下げの申し出があったことにより、減額するものとなっております。

歳出の説明は以上となります。

続きまして主な歳入の説明をさせていただきます。

ページ戻りまして10ページ、11ページをお開きください。10ページ、11ページになります。

11ページの上から数えまして3つ目の表になります。14款、1項、1目民生費国庫負担金、1節児童福祉費負担金の説明欄、障害児入所給付費及び医療費等国庫負担金の360万円は先ほどの歳出で説明をいたしました障害児通所等サービス費に係る国の負担金となっております。

その下の段の2節社会福祉負担金の説明欄、障害児自立支援給付費負担金の1,275万5千円は歳出で説明いたしました障害福祉サービス費にかかる国の負担金がこのうち1,250万円。それとは別に身体障害者補装具給付に係る同じく国の負担金25万5千円となっております。

その下の表になります。その下の表の上から数えまして2段目になります。2項、1目民生費国庫補助金、2節児童福祉補助金の説明欄、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金の9,500万

円、これも先ほどの歳出で説明をいたしました18歳以下の子供に対して支給する子育て世帯への臨時特別給付金に対する補助金となっております。

その下になります。子育て世帯への臨時特別給付金給付、こちらのほうは事務費の補助金になります。事務費補助金の125万7千円は先ほどと同様に歳出で説明をいたしました18歳以下の子供に対して支給する子育て世帯への臨時特別給付金を支給するために、必要な事務費に対する補助金となっております。

その下の段になります。2目衛生費国庫補助金、1節保健衛生補助金の説明欄、疾病予防対策事業費補助金の118万3千円は、歳出で説明いたしましたシステム改修委託料に係る補助金となっております。

その下の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の128万3千円は、歳出で説明をいたしました3回目のワクチン接種の実施に係る経費についての補助金となっております。

その下の段の3目農林水産業費国庫補助金、1節農業費補助金の説明欄、農山漁村振興交付金の839万3千円は歳出で説明をいたしました道の駅浄化槽設置工事に係る補助金となっております。

その下の段の4目土木費国庫補助金、1節住宅補助金の説明欄、住宅耐震化支援事業補助金の695万6千円は歳出で説明をいたしました耐震改修費補助金の増に伴い、こちらの補助金は増額となっております。

続きまして12ページ、13ページをお開きください。

13ページの1番上の段になります。15款、1項、1目民生費県負担金、1節児童福祉負担金の説明欄、障害児入所給付費及び医療費等県費負担金の180万円は先ほどの国の負担金でも説明した内容と同じ内容で、こちらは県の負担金となっております。歳出で説明しました障害児通所等サービス費に係る県の負担金となっております。

その下の段の2節社会福祉費負担金の説明欄、障害者自立支援給付費負担金の637万7千円は、先ほど国の負担金でも説明した内容と同じ内容で、こちらは県の負担金となります。歳出で説明いたしました障害福祉サービス費に係る県の負担金が625万円と、それとは別に身体障害者補装具給付に係る同じく県の負担金12万7千円となっております。

その下の表の上から数えまして3段目になります。2項、4目農

林水産業費県補助金、2節林業費補助金の説明欄、原木増産推進事業補助金の△135万1千円は歳出で説明をいたしました、原木増産推進事業の減に伴う補助金の減額となっております。

その下の段の5目土木費県補助金、2節住宅費補助金の説明欄、木造住宅耐震化支援事業補助金の635万5千円は国庫補助金と同じく歳出で説明をいたしました耐震改修費補助金の増に伴い、こちらの県の補助金も増額となっております。

その下の段の7目災害復旧費県補助金、3節公共土木施設災害復旧補助金の説明欄、地域振興策の△225万円は歳出で説明をいたしましたがけくずれ住家防災対策費の減に伴う補助金の減額となっております。

そこから数えまして2つ下の表になります。17款、1項、4目ふるさと寄附金、1節ふるさと寄附金の7千万円はふるさと納税にかかる寄附金となっております。本年度はこのふるさと納税の寄附金を2億5千万円ということで寄附金額を見込んでおりましたが、今回の補正予算を編成する段階の11月19日時点で、既に昨年11月末現在と比較して件数にしてほぼ倍になる1万1,415件、金額にして約5,800万円増の約1億8,500万円の申し込みが既にあり、過年度実績などから今後の寄附額を見込み、今回増額をするものとなっております。

1番下の表になります。18款、1項、1目財政調整基金繰入金、1節財政調整基金繰入金の3,548万7千円は今回の補正におけます歳入の不足額を財政調整基金から繰り入れを行うものとなっております。

その下の段の2目その他基金繰入金、1節その他基金繰入金の説明欄、ふるさと納税寄附金基金繰入金の3,708万7千円は先ほど説明をいたしましたふるさと納税にかかる寄附金額の増加見込みにかかる経費の増額に対する財源といたしまして、ふるさと納税寄附金基金から繰り入れる繰入金となっております。

続きまして14ページ、15ページをお開きください。

15ページの1番上になります。21款、1項、2目教育債、4節社会教育施設整備債の説明欄、緊急防災・減災事業債の130万円は歳出で説明をいたしました遊学館空調改修工事の財源となる起債となっております。

その下の段の11目商工債、1節商工振興債の説明欄、辺地債の

1,800万円は歳出で説明をいたしました道の駅浄化槽設置工事の財源とする起債となっております。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

町民課長（片岡和子君）

それでは議案第78号、令和3年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について御説明させていただきます。

補正予算書の事項別明細書、10ページ、11ページ、最後のページになりますが、そちらのほうをお開きください。

歳出から説明させていただきます。

2番目の表の2款、1項、3目一般被保険者療養費、18節負担金補助及び交付金の説明欄、負担金一般被保険者療養費、これは、あんま、はり灸、マッサージ、コルセットなど保険診療として認められる費用の保険者負担分となりますが、今年度の給付実績の増加に伴う、年度給付額、給付見込額の見直しにより、128万3千円の増額補正を行うものです。

下から2番目の表の5款、2項、1目特定健康診査等事業費、10節需用費の説明欄、印刷製本費3万7千円につきましては、特定健康診査受診者を増やす取り組みの一つといたしまして、かかりつけ医からの受診勧奨を行っていただいておりますが、その折に使用いたしますチラシ作成にかかる費用として増額補正を行うものです。

続きまして、歳入の説明をさせていただきます。

ページ戻りまして8ページ、9ページをお願いします。

1番目の表の3款、1項、1目保険給付費等交付金につきましては、先ほど歳出で御説明させていただきました、一般被保険者療養費と特定健診受診勧奨にかかる費用の合計132万円を受け入れるため、増額補正を行うものです。

また、2番目以下の表、5款繰入金及び8款国庫支出金につきましては、先ほど、一般会計の補正予算説明の中にもございましたが、令和3年度の財政安定化支援事業繰入基準額の決定や、令和2年度実績に伴う地方単独事業波及増分の額が示されたこと、また、国庫支出金につきましては、オンライン資格確認等システム等整備に伴う国庫補助について、それぞれ歳入科目を構成するものです。

以上で、説明を終わらせていただきます。よろしく願いします。

病院事務局長（池内智保君）

それでは、私から議案第79号、令和3年度佐川町病院事業特別会

計補正予算（第2号）について説明をさせていただきます。

佐川町病院事業特別会計補正予算書（第2号）の1ページをお開きください。

議案本文にありますとおり、この補正は令和3年度、佐川町病院事業特別会計予算に定めております、第3条収益的収入、第4条資本的収入の予定額につきまして、補正予定額のとおり補正をさせていただきます。

6ページ、7ページをお開きください。事項別明細書でございます。

まず、6ページ、収益的収入の表をごらんください。

収入の1款、2項、4目の補助金につきまして、2,131万3千円を増額補正するものでございます。補助金のうち、県補助金につきましては、新型コロナウイルス感染症疑い患者を受け入れる病床の確保に対する高知県新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金としまして、1,430万円、また、5月から10月までに実施しました新型コロナウイルスワクチンの個別接種に対する高知県新型コロナウイルスワクチン個別接種等促進事業費補助金としまして、685万3千円、合計で2,115万3千円を増額補正を行うものであります。

また、国庫補助金につきましては、医療、介護における感染拡大防止対策に係るかかり増し経費に対する、感染防止対策継続支援事業費補助金として、16万円の増額補正を行うものであります。

次の1款、2項、8目の負担金交付金につきましては、ゴールデンウィーク及び年末年始において、新型コロナウイルス感染症の検査を行うことに対する、高知県検査協力医療機関協力金として、300万円の増額補正を行うものであります。

次に、7ページ、資本的収入の表をごらんください。

収入の1款、4項、1目の県補助金につきまして、81万5千円を増額補正するものでございます。これは、新型コロナウイルス感染症対策として、救急入口に設置しています感染患者に対する処置、診療用のプレハブ及び感染患者受け入れ用病室2室へそれぞれ設置するヘパフィルター付陰圧空気清浄機3台の購入費用への補助金でございます。

以上でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

総務課長（麻田正志君）

私から、議案第80号、佐川町職員定数条例の一部を改正する条例

につきまして、御説明をさせていただきます。今回の条例改正につきましては、町長の事務部局の職員と、教育委員会の事務局及び教育委員会の所管に属する学校以外の教育機関の職員の定数を増やすものとなっております。

お配りさせていただいております、参考資料、議案第 80 号関係をごらんください。A 4 の 1 枚ものになってます。この表の左側が現行、現在の定数、右側が今回提出させていただいております改正後の案ということになっております。

まず、左側の表の 1、町長の事務部局の職員のほうをごらんください。現在の定数でありますけれど、定数が 104（うち兼任 1）となっております。次に、同じその右側の同じ 1 町長の事務部局の職員の定数をごらんください。改正後の案といたしまして 109（うち兼任 1）といたしまして、定数を現行から 5 人増としております。次に、同じ様に左側の表の 4、教育委員会の事務局及び教育委員会の所管に属する学校以外の教育機関の職員のほうをごらんください。こちらのほうの現行の定数は 13 となっております。同じく右側のほうの表をごらんください。同じ 4、教育委員会の事務局及び教育委員会の所管に属する学校以外の教育機関の職員の定数、こちらのほうを 15 とし、定数を現行から 2 人増としております。

今回の定数増につきましては、町長部局につきましては育児休業等による人員不足を軽減するため、育児休業等の休職者数相当分の増としております。過去 5 年間で平均しましても毎年度 5 名程度は育児休業等で休職する職員がいるため、町長部局は 5 名の定数増とさせていただいております。また、教育委員会につきましては、新たな図書館、新図書館開館に向けての司書の配置及び教育委員会の各出先機関への正職員配置を想定した 2 名の定数増とさせていただいております。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

税務課長（田村秀明君）

それでは私のほうから議案第 81 号、佐川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての詳細を説明させていただきます。

この改正は全世帯貸与型の社会保障制度を構築するための、健康保険法等の一部を改正する法律が令和 3 年 6 月 11 日に交付され、関係政令が令和 3 年 9 月 10 日に交付されたことに伴い、国民健康保険

税の一部を改正するものです。改正の主な内容は子育て世帯の経済的負担の軽減の観点から、子供、未就学児になりますが、未就学児にかかる国民健康保険税の均等割額の軽減が導入されることです。参考資料で説明をさせていただきますので、参考資料第 81 号関係をごらんください。

資料は子供に係る国民健康保険料等の均等割額の減額措置の導入となっております。この資料は厚生労働省が作成したものであり、国民健康保険料となっておりますが、佐川町では国民健康保険税となります。

まず 1 の現状及び見直しの趣旨、1 つ目の丸でございますが、国民健康保険制度の保険税は応益（均等割・平等割）と応能（所得割・資産割）に応じて設定されているとなっております。応益とは受益に応じて等しく負荷されるものであり、均等割は被保険者一人に対してのものであり、平等割は 1 世帯に対してのものであります。もう一つの応能は被保険者の負担能力に對しまして負荷するものであり、所得割と資産割はありますが、佐川町では平成 30 年度の見直しにより、固定資産に対する資産割は廃止しており、現在は所得割となっております。このうち、現状の軽減措置は低所得者に對しまして応益、保険税額は所得により 7 割、5 割、2 割の軽減となっております。

次に、見直しの改正点でございますが、2 つ目の丸になります。子育て世帯の経済的負担軽減の観点から子供の均等割保険税の軽減が導入となります。

次の 2、軽減措置のスキームでございますが、1 つ目の丸の対象は全世帯の未就学児であり、令和 4 年 4 月に施行されますが、佐川町の本年、令和 3 年 10 月現在であれば、63 人が対象となります。

次に 2 つ目の丸になります。未就学児にかかる均等割保険税について、その 5 割を公費により軽減することとなります。右の軽減イメージ図をごらんください。

まず、薄緑色の部分でございますが、ここが現在の均等割の軽減措置の部分となっております。軽減の割合は判定所得に応じて 7 割、5 割、2 割の減額となっております。次に、今回の改正部分でございますが、薄黄色の部分になります。例えば、7 割軽減世帯の未就学児の場合は残り 3 割の半分、1.5 割を減額しますので、8.5 割の軽減となります。同じ様に 5 割軽減は 7.5 割の軽減、2 割軽減は 6 割

の軽減となります。また、現在、軽減の対象となっていなかった未就学児も5割の軽減となります。

今回の改正に伴う財源措置は国が2分の1、県と町がそれぞれ4分1となっております。

以上が主な改正となります。そのほかは法令の改正に合わせての所要の規定の整備などとなっております。

次のページ、2ページ、3ページは佐川町国民健康保険税条例の改正概要の表となっております。その次の4ページから最終ページの18ページまでは新旧対照表となっております。

なお、条例の施行日は法律または制令の改正に合わせて改正は令和4年4月1日、そのほかは交付の日が施行となります。

以上で議案第81号の説明を終わります。よろしく申し上げます。
町民課長（片岡和子君）

それでは、議案第82号、佐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定につきまして、御説明させていただきます。

こちらにつきましては、健康保険法施行令等の一部を改正する政令が令和3年8月4日に交付され、令和4年1月1日より施行されることに伴い、出産育児一時金の支給額について条例を改正するものです。

お手元の参考資料、議案第82号関係の新旧対照表をごらんいただきたいと思います。第7章に出産育児一時金の規定がございます。

現行では被保険者が出産したときには出産育児一時金40万4千円に加えまして、産科医療補償制度の加算対象となる出産につきましては、当該制度の掛け金1万6千円を加算しまして、合計42万円が支給されております。

令和4年1月1日より、産科医療補償制度の掛け金がこの1万6千円から1万2千円に引き下げられることとなりましたが、社会保障審議会医療保険部会のその会議におきまして、少子化対策としての重要性に鑑み、出産育児一時金等の支給総額については、42万円を維持すべきとされました。このことを踏まえた健康保険法施行令の改正に伴い、出産育児一時金の支給額につきましては、現行の40万4千円から40万8千円に。加算額につきましては1万6千円から1万2千円に改正するものです。なお、この条例の施行期日につきましては、新旧対照表の2枚目にありますとおり、令和4年1月1日から施行となります。

以上になります。よろしくお願ひいたします。

病院事務局長（池内智保君）

それでは私から、議案第 83 号、佐川町病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について御説明をさせていただきます。

お配りしております参考資料、議案第 83 号関係の新旧対照表をごらんください。

今回の改正につきましては、第 2 条の病院事業管理者の給料月額及び第 6 条の宿日直手当を改定するものでございます。

まず、給料月額につきましては、前回は平成 30 年度に国に合わせて見直しをしておりましたが、その後、国が平成 31 年度に増額をしたことから、今回はそれに合わせて改定をするものです。

次に、宿日直手当につきましては、当院へ医師を派遣しているほかの機関の意向も踏まえまして、高知県の僻地医療機関における医師の宿日直手当に合わせ、令和 3 年 4 月 1 日に遡及して改定するものでございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

議長（西森勝仁君）

以上で、議案第 77 号から議案第 83 号までの提案理由説明を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了しました。

次の会議を 6 日の午前 9 時とします。

本日はこれで散会します。

散会　　午前 11 時 22 分